

第2回龍姫湖利用協議会 議事録

日 時：令和5年1月19日（木）10時30分～11時40分

場 所：安芸太田町役場本庁東館2階大集会室

出席者：委員7名（別紙名簿の通り）

広島県山県警察署 地域交通課長 田邊 源太

安芸太田町 橋本町長、木本参事

（産業観光課）菅田課長、正木課長補佐、佐々木主任主事

1. 開会（挨拶、出席者紹介、経緯説明）

議事に先立ち、安芸太田町橋本町長より挨拶がありました。

2. 議事

（1）令和4年度社会実験の報告について

事務局より、令和4年度の社会実験について説明がありました。

質疑

中川署長	資料1 2ページ（4）安全管理について、前回の協議会後現地を視察させていただいた。ゲートに明確に立入禁止がわかる看板を付けてもらっているのも、明らかにここから先は入ってはだめというのがわかった。最初不安だったのは、事業者以外の方が勝手に進入した人たちのトラブル。このような場合、警察が現地へ行っても明確な意思表示がないと外へ出すのは難しいのが現状。しかし、現地には看板が設置しており、明確な意思表示があるので、通報して頂ければ、検挙するかは別として、対応が可能である。
藤井所長	資料1 2ページ③でスタート&ゴールのタイミングと利用エリアを分けたことで、同時利用の際に大きな問題はなかったとあるが、今後、エリア、コース設定は考えていくのか、これから社会実験をやっていくと思うが、すぐ設定という話ではないと思うが、安全面も含めその辺りも考えたものが必要ではないかと個人的には思うが、いかがか。
事務局	今、明確にしているものはないが、今後事業者さんと調整しながら、ユーザーの方に示すチラシ、こういったことができますよという案内を作るなかで、ある程度このエリアでなにができるというのは作っていきたいと思う。令和5年度に取組みたいと思う。
堀田出張所長	ウェイクサーフィンで使用する、ボートの関係について確認したいことがある。油漏れがなく、問題なかったということだが、平素の点検や法

	定点検をどのように行っているのか、燃料の保管状況や油種、量、保管場所がわかれば、教えていただけるか。
事務局	船を搬入することに対して、点検している。車で言う車検証のようなものは事前に提出してもらっている。法定点検等は事業者さんで受けてもらうよう指導をしていく。また、燃料等の保管、補給状況はこの場で説明できないが、今のような話も踏まえ、消防の観点からも問題がないよう指導いただけるよう、相談、確認させていただく。来年度進めるにあたり、留意する。
事業本部長	利用状況について、予定より多かった、少なかったがあると思うが、利用者は、一般のユーザーなのか、それともある程度声をかけて集めた人数か。
事務局	人数について、細かいことは確認がいるが、視察等は除き、実際にお金を払って利用された人数を入れている。利用者をどうやって呼んだかという点については、各事業者さんがそれぞれお知らせする中で、受け入れるような形をとったので、こちらで全部把握できていないが、役場として広く呼びかけたわけではないので、令和5年度に向けて広く利用がわかるようにしていく。
町長	SUP、カヤックは一般の人が多かったのではないかな。
事務局	地域商社が窓口となって受入をされており、三段峡を利用された方にも、温井もどうですか等ご紹介をいただいたと聞いている。

（２）令和5年度事業について

事務局より令和5年度事業について説明がありました。

質疑

堀田出張所長	来年度は暖かい時期もやるということで、かなりの人が来ることが予想されるが、利用者の制限、上限というのは考えているのか、また、知らずに入ってくる方もいると思うが、注意喚起等はどのように行うのか、また従業員の方がおられたりするのかな、その点を教えていただけるか。
事務局	利用者数の制限について、それぞれの事業者で1日の受入キャパ等によって、決まってくると思うが、今の段階で制限等は決まっていない。それから、飲食利用も含め、キッチンカー等を想定しているが、どこでやるかの制限は設け、温井ダムに見学に来る方にも飲食が利用できるよう考えているので、誘導等について、どこに行けばいいのかわからないという意見が出た場合は、温井ダムリゾートさん等で回答できるよう対応したいと考えている。また、誘導等について、イベント等であれば対応があるかもしれないが、常時の対応は今のところ考えていない。

藤井所長	人数について、事務局のいった通りだが、陸上エリアの①、②はスペースも狭く、ここを利用される方は湖面利用者、予約された方の利用になるので、事前に人数把握ができる。 ただ、私も気にしているのは、公募をかけたときにどれだけ手があがるか分からないが、人数というよりもどれだけの事業者を OK とするのか、今回も 4 社やられたなかで、それが一気に倍になるのか、そういった受入は本当にできるのか、というところと難しいところがあって、公募をする際にその辺りも頭に入れておかないと、大変なことになるのではないかと。今回初めて陸上エリア③というところで、設定して頂いたが、広いからとはいえ、なんでも受入 OK ではなくて、設定基準とするとどういうことをやるかだけではなくて、基準をどれだけクリアしているか、十分吟味したうえで、対象者の数も事前には考えておいた方がいいのかと思う。
事務局	今回進め方をまずご理解いただいたなかで、詳細については事務局と温井ダム管理所でブラッシュアップして、2 月 1 日からの公募に向けて準備を進めていく。実際に公募した、どういった方に参加して頂けるか、一気に数が増えた場合にどうなるかというところは、実際に募集を見ながら、また内容が被るような事業者がいれば、実際にお話しいただく場を設定したり、期間を分ける等、対応できるところを探していく。
藤井所長	社会実験を公募しますということだが、事業者から企画があがってくると思う。事務局でも考えられていると思うが、あがってきた企画だけやるのではなく、独自メニュー作りではないが、事業者と調整し、温井ダムの特色等を活かしたことができないか等考えてもらいたい。昨年で言えば、ウェイクサーフィンでクルージングができないか等話もあったが、事業者間同士で新しい事をやってもらえたらと思う。また、現時点では難しいかもしれないが、今年度事業をやることも大切だが、この先どうするのか、中長期スパンの計画、目標、まだ早いかもしれないが、その辺りも考えてもらいたい。また、今年度少し話もあったウェイクサーフィンの大会等のイベントも湖面利用の可能性を探る上では調整いただければと思う。
事務局	指摘も踏まえ、募集した内容に限らず、地域として活用できるものは追加するようなことも含め、町としても協議していく。ただ、地元で迷惑がかかることがあれば制限もしていきたいと思う。その点については、温井ネットワーク協議会さんも含め、地元の方とも協議をしていく。
町長	わがまちスポーツの来年度の内容も、もう少し精査してほしい。
佐々木会長	社会実験なので、どこまでやられるのか分からないが、整備について、事業者から意見が出てくると思うが、その辺の計画はあるのか。

事務局	まずは、現地の状況で令和４年度も実施したところですが、周辺の整備も含め看板設置、ダムの中なかでもこういった整備ができれば等、意見をいただきながら、またダム管理所さんの意見もいただきながら、どのように整備していくかという点は、引き続き、検討していく。今の段階で決まっていないが、清掃等日常的な維持管理は事業者さんにも求めていると思う。
佐々木会長	エリア②の駐車場と、ダムリゾートから降りたところに関連した道があるが、建設当時から要望してきて、うえむやのなか過ぎているが、水没するところには構造物はできないというのが、当時の建設省の意向だった。また、元作業所の橋も地元へ相談せず取り上げてしまった経緯がある。それはいま元町民センターの所へある。いずれにしても友好的に使うためにはあの道を繋げることが大事じゃないかと思う。その辺も配慮しながら進めてもらいたい。
藤井所長	エリア②は湖面へおりる道から行く形になると思う。リゾートさんのところからの道があるのは承知しているが、ダム管理所のほうで整備するのは今難しいところもある。先ほど事務局からもあったように、今後ニーズ、意見を踏まえたうえで、どうするかというのは検討していきたい。
佐々木会長	温井のアパートの下の進入路も使えると思うが、民地が入っており、地元との協議の中で民地の関係があるから地元にも鍵は渡している。ここも整備が進み、利用可能になれば利用価値があがるのではないだろうか。
藤井所長	参考資料１の進入路よりもう一つ上流に進入路があるが、回転する場所がなかったり、入っても水に近づけるエリアが狭いのが現状。利用面で考えると、非常に難しいかなという気もしている。進入する際に森の部分があり、崩れたりするので、安全面でも問題があるので、開放というのは難しいかと思う。ダム管理上では利用はしている。現状はそのような状況。
橋本町長	温井リゾート側からの降り口は確かに便利だと思うが、ただ、まずそれをやるためには、実績等を積み上げていき、ご指摘は将来の課題としていただきたい。そのためにまず社会実験を成功させたい。
佐々木会長	他のダム、特に宮ヶ瀬あたりはイベントをしていると思うが、テレビでも出ていたが、堤体の上を歩いたり等、他のダムの湖面利用の状況はどうだろうか。
藤井所長	宮ヶ瀬は都市部に近い面等もあり、利用が進んでいる。が、例えば、群馬、長野県境近くにあるハッ場ダムでいえば、温泉街があったりもするが、同じようにダム周辺で民間利用が可能となり、活性化につながっている。進んだところでは堤体利用やダムの中も含めた案内ツアー等を実

	施しているところ。
佐々木会長	宮ヶ瀬等にしても地形的に全く違う。それぞれのやり方しかないと思うので、温井ダムは温井ダムのやり方で、皆さんと一緒に協議しながらいいものにしていきたい。
町長	今回エリア③を追加して頂いているが、ダムの下側、夏はホテルを見に来られるが、そこはなかなか難しいものだろうか。あそこに明るいのがどうかというところもあるが、かなりの人が集まるので、商売的にはいいのかと思うが。
藤井所長	位置的にはいいと思うが、ダム下流部については、エレベーター降りてダムをしたから見上げるところへ着き、さらに下流に行くと橋があるが、その辺りが山からかなり石が落ちてきたり、危険な状況。安全面を考えるとどうかというところ。今回ダムの周辺でもやるというので、言い方は悪いかもしれないが、無難なところを設定させていただいた。これから意見がでてくると思うので、整理したい。ただイベント等、一時的な利用とかであればやり方はあるのかと思う。
町長	イベント的に実施する等は今後考えていただきたい。
事務局	先ほど話もありましたが、社会実験を通して様子をみながら、ここはどうか、ここでやりたいというのがあれば、事業者さんと相談しながら、その辺りは検討させていただきたい。
佐々木会長	社会実験の段階で、最近取り組まれているが、周辺の住民はなにをやっているのかという声があるので、できれば地元にも情報提供をお願いする。協力しないということではなく、地元にも理解をしてもらいたい。
事務局	自治会等にも情報を出させていただく。
堀田出張所長	参考資料 2 2 ページの救急の資格をもった方の指導を受けられてとあるが、敷材でもよく言われるのが AED。この辺りの準備は検討されているのか。また、実際の訓練等やられたらどうかと思うのですが。
事務局	AED については地域商社さんの受入時は持っていく準備はしておられる。イベント等も含め備品が必要になってくるのであれば検討して考えたい。訓練について、速やかに対応できるよう事業者さん交えて検討していきたい。
佐々木会長	リゾートへ設置はできないのか。
事務局	リゾートさんのほうに相談もして、町が貸している状況なので、誰が用意するかも含め相談したい。
事務局	1 点補足させていただく。先ほど皆さんから意見もいただき、令和 5 年度の事業者が決まり、実施していきながら可能性を探る中で、今回募集する範囲としては令和 5 年度から始める団体を決めることとしている

	が、場合によっては来年度4月以降も情報を知り、参加したい事業者さんがおられるかもしれないので、そういった相談があった場合は、事務局で話をうけ、年度途中にはなるが、審査、追加で入ることが可能かは同様の流れで進めたいと思う。
佐々木会長	社会実験は5年度で終わり6年度から本格化するのか
事務局	まさにそれが中長期的な計画となるが、社会実験として4.5年度位置付けていますが、近い将来的には、湖面周辺を町が国交省から占用をいただいて、事業者さんに使ってもらうような、社会実験の次のステップに町としても取り組みたい。
佐々木会長	目標としてはどれくらいか。
事務局	早ければ令和5年度途中、末に占用の申請をすることもあるかもしれないし、令和6年度になるかもしれない。国交省と相談しながら進めていきたい。
町長	中長期的な計画も事務局でも練り始めてもらえたらと思う。

4. 意見交換

特になし。

5. 挨拶

温井ダム管理所藤井所長より温井ダムの取組の紹介及び挨拶がありました。

6. 閉会